

留 萌 市 特 別 功 労 者 一 覧

	氏 名	表彰年月日	表 彰 事 項	備 考
1	五十嵐 億太郎	昭.25.11. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌港の築設（拡張整備） ・留萌本線の敷設 ・雨童炭田の開発、留萌鉄道株式会社の設立 	
2	原 田 太 八	昭.29. 5.22	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌町議会議員、留萌町長、留萌市長として市政の振興に寄与 ・貞明皇后記念救らい事業に寄付 ・留萌市消防署に消防ポンプ自動車寄付 ・市役所庁舎改築費に寄付 ・農業会長、商工会議所会頭、信用組合長として斯業の振興に尽瘁 	
3	小 沢 友 平	昭.46. 1.11	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌町議会議員、市議会議員として市政の発展に尽瘁 ・日本水難救済会留萌救難所長として人命救助に挺身 ・留萌機船底曳漁業協同組合長として斯業の発展に尽瘁 	
4	橋 本 作 市	昭.47. 9. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌町助役、留萌市長としてきわめて窮迫した地方財政の再建に万難を処し、みごとにその建てなおしを果たされた功績 ・町議会議員、副議長として市政の振興に尽力 ・留萌市教育委員として教育行政改革を推進するなど、一貫して地方自治行政の進展に尽瘁 	
5	原 田 栄 一	昭.61. 7. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・利害のために主義を曲げない氏の清廉潔白な性格と深い洞察力、そして果敢な決断力と指導力は市民から深く敬愛され、昭和37年推されて留萌市長に初当選、以来連続6期24年の永きにわたり、市民の信頼と期待に応え「公正と連帯と自由と総参加」を一貫した政治理念として、本市の自治振興はもとより、本道並びに全国の地方自治の発展と振興に尽力された。 	
6	道 重 雄	昭.63.10.24	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和22年4月、新憲法に基づく、公選第1回目の留萌町議会議員選挙に当選、同年10月市制施行に伴い市議会議員となる。爾来11期41年有余にわたり市政に参与され、二度にわたる市議会議長就任をはじめ各常任委員会委員長等を歴任され、本市は勿論のこと全国的な立場で地方自治の振興に尽力された。 ・消防行政に深い理解を持ち、自ら消防分団長をはじめ団長等の要職を歴任、その活動は44年間にのぼり市民の治安活動に大きな功績を残された。さらに青少年健全育成にも関心が深く、保護司としての更生活動にも尽力された。 	昭.52.10. 1 功労者
7	五十嵐 悦 郎	平.12. 1. 17	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌市職員として奉職し、一途に郷土留萌発展と市民福祉の向上に尽力 ・留萌市長として、2期8年にわたり、地方自治の振興・産業振興・社会福祉・環境衛生・教育の振興などに貢献した数々の功績 	平. 9.10. 1 功労者
8	長 沼 憲 彦	平.20. 6. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌市長として、3期12年にわたり、地方自治の振興・産業振興・社会福祉・環境衛生・教育の振興などに貢献した数々の功績 	